

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 年 月 日

事業所名 フリー・ウィル・インフィニティ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			個々に必要なスペースを検討し配置している。	パーティーションの作り直しを定期的に行っていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2			従業員の意見を取り入れた人員配置を検討してみる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	2	利用されるお子様に合わせた環境の工夫を行っている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		改善案はスタッフが参加している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		1	・改善していく時間が足りない	効率よい業務シフトを検討する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	1		全スタッフに周知を行う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		1		参加できなかった従業員については、個別で研修機会を設けるように努める。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8				社内で統一したツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		3		社員中心となっているのでパート・バイトの意見を聞き取っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2	1	準備するスタッフで偏りがある。	作成プログラムが評価できるツールを作成する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		2	・パート・アルバイトに情報が行き届いていない。	職員間のコミュニケーションを活性化するように努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3			ICTを活用していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2	1		パート、アルバイトについても制度理解をしてもらう機会を設ける。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8					
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8				引き続き連携に勤めていく。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8				重要な内容なので、体制が出来ていることを周知していく。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8						
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8						
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		2		必要事項については適時連携していることを周知する。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1		7		現状では感染症予防を優先する為、難しい。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				8		現在の状況下では、感染予防の為積極的な出席は見送っており、状況が変われば参加していく。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				3	時間がなくて話が途中になってしまうことがある。	効率の良い業務体制を作っていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		3				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8						
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8						
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			2		6		今後父母の会の設置を検討したいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8						
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			2		6		広報の作成準備を急ぐようにする。
	35	個人情報に十分注意しているか	8						
非常時等の対応	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8						
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1		7		積極的には取り組んでいないので、検討していきたい。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8						
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8					参加できなかった、職員についても個別に対応していく。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		2			参加できなかった、職員についても個別に対応していく。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8					令和4年度よりは制度改正に伴い、定期的に必要の可否について話し合いを行う。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1			重要な内容なので、体制が出来ていることを周知していく。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8							

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。